

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔生活〕 種目〔生活〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [ 生活 ] 種目 [ 生活 ]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、学校の立地条件により、体験活動の種類や実施方法は様々であるが、各学校の特色を生かした授業づくりを行っている。また、「学校教育活動地域連携推進事業」を活用し、地域の野菜作りや乗馬体験といった地域の特色を生かした特色ある取組を行うなど、多様な体験活動を行うための人的環境が整っている地域が多く、児童が地域の方との交流を生かした学習を行うことができている。
- 児童は就学前において幼稚園や保育園等でさまざまな体験活動をしており、その経験を活かしながら意欲的に学習に取り組んでいる。児童が他者と伝え合ったり、振り返ったりすることで、無自覚だった気づきを自覚したり、一人一人に生まれた個別の気づきを関連付けたりする姿は見られるが、自分自身を見つめることを通して自分のよさや可能性に気付くことには課題が残っている。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 具体的な活動や体験を通す工夫 ② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫 ③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫 ④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫 ⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑦ 単元・内容の配列及び分量
<内容の表現・表記>	⑧ 適切な写真や挿絵等の活用 ⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

## 1 基礎・基本の定着

**視点①** 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

**視点②** 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」として示している。
- 上巻「がっこうだいすき」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 病気の予防に努める
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

**視点③** 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「あしたへジャンプ」では、次のような活動を示している。
  - ・ 成長した自分について振り返る活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

**視点④** 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 校庭、公園、町
- 町探検を3回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点⑤** 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 「!」「?」「♡」の記号で主に育成を目指す3つの資質・能力を示し、活動のめあてを示している。
- 上巻「じぶんでできるよ」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の気持ちを伝え合う活動を示している。
  - ・ 取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と吹き出しで示している。

**視点⑥** 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

## 3 内容の構成・配列・分量

**視点⑦** 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：9単元
- 判型A4判 上巻：130ページ 下巻：122ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「かつどうべんりてちょう」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

## 4 内容の表現・表記

**視点⑧** 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、7種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、6種類の虫と3種類の動物を写真で示している。

**視点⑨** 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

## 5 言語活動の充実

**視点⑩** 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「つながる 広がる わたしの生活」では、5種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 新聞、ポスター、パンフレット、動画、電子黒板

## 1 基礎・基本の定着

### 視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

### 視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」として示している。
- 上巻「みんななかよし」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

### 視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「わたし ひろがれ」では、次のような活動を示している。
  - ・ 自分のよさや友達のよさを見つける活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に小さかった頃の自分について聞く活動

### 視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 校庭、公園、町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### 視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 課題文と本文を示し、何をすればよいのかを示している。
- 上巻「かぞくだいすきだよ」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の気持ちを伝え合う活動を示している。
  - ・ 取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵とキャラクターの吹き出しで示している。

### 視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示し、幼児期の経験を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### 視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：4単元 下巻：6単元
- 判型A4判 上巻：140ページ 下巻：128ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「がくしゅうのどうぐばこ」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

## 4 内容の表現・表記

### 視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、6種類の動物を写真で示している。また、学校の近くの野原と9種類の虫をイラストで示している。

### 視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

## 5 言語活動の充実

### 視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「町のキラリ ひろがれ」では、6種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 紙芝居、動画、地図、ポスター、実演、電子黒板

1 基礎・基本の定着

**視点①** 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

**視点②** 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「！」と「やくそく」として示している。
- 上巻「がっこうたんけん」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

**視点③** 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「わたしたんけん」では、次のような活動を示している。
  - ・ 成長した自分について振り返る活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に小さかった頃の自分について聞く活動

**視点④** 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

**視点⑤** 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「ありがとうがいっぱい」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員として分かったことを伝え合う活動を示している。
  - ・ 家族に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
  - ・ 「もっとつづきたいな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう写真と挿絵、言葉で示している。

**視点⑥** 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

3 内容の構成・配列・分量

**視点⑦** 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：10単元 下巻：6単元
- A4変形判 上巻：140ページ 下巻：132ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「まなびかたずかん」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

**視点⑧** 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、3種類の植物の種や発芽の様子を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、5種類の動物を写真で示している。また、校庭のイラストを示し、8種類の虫を写真で示している。

**視点⑨** 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

**視点⑩** 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「あの人に会いたいな」では、7種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 新聞、ポスター、絵本、地図、作文、巻物、電子黒板

## 1 基礎・基本の定着

### 視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

### 視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わることを「やくそく」と「できるかな」として示している。
- 上巻「わくわく どきどき しょうがっこう」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 病気の予防に努める
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 遊びのルールを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

### 視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「あしたへ つなぐ 自分たんけん」では、次のような活動を示している。
  - ・ 自分の成長について思い出す活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞き、前の自分と今の自分を比べる活動

### 視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 公園、町
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### 視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 子どもから引き出したい「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」の6つの「力」を示し、めあてを示している。
- 上巻「かぞくにこにこ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の家族の気持ちを伝え合う活動とともに、伝える方法を複数示している。
  - ・ 家族や身近な人に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
  - ・ 「つたえたいな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と言葉で示している。また、「ぐんぐんはしご」を用いて自己評価ができるようにしている。

### 視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示し、「わくわくすいっち」を設けている。

## 3 内容の構成・配列・分量

### 視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：7単元
- 判型A4判 上巻：130ページ 下巻：130ページ
- 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「学びのポケット」を各巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

## 4 内容の表現・表記

### 視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、7種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、校庭のイラストを示し、3種類の虫と2種類の動物を写真で示している。

### 視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

## 5 言語活動の充実

### 視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「えがおのひみつたんけんたい」では、8種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、電子黒板、タブレット

## 1 基礎・基本の定着

### 視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

### 視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「あぶない！」として示している。
- 上巻「うれしいな いちねんせい」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 病気の予防に努める
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 遊びのルールを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

### 視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「大きく なった わたし」では、次のような活動を示している。
  - ・ 小さい頃の自分について思い出す活動
  - ・ 家族に小さい頃の自分について聞く活動

### 視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 野原、町
- 町探検を1回設定し、身近な地域に関わる活動を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### 視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる言葉を示している。
- 上巻「わたしとかぞく」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族に感謝の気持ちを伝える方法を写真で示している。
  - ・ 「こうしてみようかな」で、取り組んだことを生活に生かせるよう写真と挿絵で示している。

### 視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### 視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：17単元 下巻：13単元
- AB判ワイド 上巻128ページ 下巻：104ページ
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

## 4 内容の表現・表記

### 視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真と挿絵で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、7種類の生き物を写真で示している。

### 視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。

## 5 言語活動の充実

### 視点⑩ 伝え合う活動を通した交流の場の設定やその工夫

- 下巻「わたしたちがすむ町」では、2種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 電子黒板、紙芝居

## 1 基礎・基本の定着

### 視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

### 視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「あんぜん」として示している。
- 上巻「なかよし いっぱい がっこう たんけん」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 病気の予防に努める
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

### 視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「広がれ わたし」では、次のような活動を示している。
  - ・ 成長した自分について振り返る活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

### 視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 町
- 町探検を3回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

## 2 主体的に学習に取り組む工夫

### 視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 活動内容や活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「みんなのにこにこ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員としてがんばったことや分かったことを伝え合う活動を示している。
  - ・ 「たのしいまい日につなげよう」で、取り組んだことを生活に生かせるよう振り返りの手順を示している。

### 視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、写真と吹き出しを示している。

## 3 内容の構成・配列・分量

### 視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：9単元
- 判型A4判 上巻：137ページ 下巻：127ページ
- 活動の際、取り出して必要に応じて参考にできる資料「ひろがるせいかつじてん」を上巻巻末に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

## 4 内容の表現・表記

### 視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、5種類の虫と2種類の動物を写真で示している。

### 視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。また、書き文字と差異を生じないフォントを採用している。

## 5 言語活動の充実

### 視点⑩ 伝え合う活動を通じた交流の場の設定やその工夫

- 下巻「みんなにつたえよう すてきなまち」では、3種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 新聞、ポスター、パンフレット



1 基礎・基本の定着

視点① 具体的な活動や体験を通す工夫

- 学校、学校の周り、公園、地域（町探検）での活動を設定している。
- 植物を育てる活動を設定している。
- 生き物と触れ合う活動を設定している。
- 身近な自然を観察したり、季節を楽しんだりする活動を設定している。
- 家庭生活に関する活動を設定している。
- 身近な自然や身近にある物を利用して遊んだり、遊びを工夫したりする活動を設定している。
- 次学年に向けて新1年生を招待したり、自分の成長を振り返ったりする活動を設定している。

視点② 生活上必要な習慣や知識及び技能を身に付ける工夫

- 健康や安全、生活習慣に関わる知識・技能を「けんこうにすごそう」、「あんぜんにすごそう」として示している。
- 上巻「いくぞ！がっこうたんけんたい」では、生活上必要な習慣を示している。
  - ・ 病気の予防に努める
  - ・ 安全への意識を高める
  - ・ 施設や公共の場所のルールやマナーを守る
  - ・ 適切な挨拶や言葉遣いができる

視点③ 自分自身や自分の生活について考えるための工夫

- 下巻「これまでの わたし これからの わたし」では、次のような活動を示している。
  - ・ 成長した自分について振り返る活動
  - ・ 友達のよさを交流する活動
  - ・ 家族や身近な人に自分の成長について聞く活動

視点④ 自分自身と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫

- 季節の変化の様子を比べる活動を設定している。
  - ・ 校庭
- 町探検を2回設定し、同じ場所、人に繰り返し関わる活動を設定している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 単元の目標の示し方及びまとめを行うための工夫

- 小単元名や次の活動につながる児童の言葉を示している。
- 上巻「じぶんでチャレンジ大きくせん」では、単元の終末を次のように取り扱っている。
  - ・ 家族の一員として取り組んだことやその時の家族の様子を伝え合う活動を示している。
  - ・ 家族や身近な人に感謝の気持ちを手紙で伝える活動を示している。
  - ・ 「ひろがる きもち」で、取り組んだことを生活に生かせるよう挿絵と言葉で示している。

視点⑥ 学習の見通しをもたせるための工夫

- 幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに幼児期の様子を写真で示し、入学当初の小学校生活の様子を写真や挿絵で示している。
- 学習の見通しをもたせるため、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」として左上に示している。

3 内容の構成・配列・分量

視点⑦ 単元・内容の配列及び分量

- 単元数 上巻：9単元 下巻：8単元
- AB判ワイド 上巻148ページ 下巻138ページ
- 活動の際、必要に応じて参考のできる資料「びっくりずかん」や「がくしゅうずかん」を各巻に設けている。
- 季節の流れに沿って単元が配列・構成されている。

4 内容の表現・表記

視点⑧ 適切な写真や挿絵等の活用

- 上巻の栽培に関わる単元では、アサガオの成長の過程や、発芽の様子を写真で示している。また、6種類の植物の成長の過程を比較できるように写真で示している。
- 上巻の飼育に関わる単元では、校庭や公園、動物園をイラストで示し、9種類の生き物を写真で示している。

視点⑨ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

5 言語活動の充実

視点⑩ 伝え合う活動を通した交流の場の設定やその工夫

- 下巻「町のすてきつたえたい」では、10種類の表現方法で伝え合う活動を示している。
  - ・ 劇、カルタ、クイズ、廊下掲示、動画、ポスター、手紙、作文、電子黒板、タブレット

#### 4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「自分自身を見つめることを通して自分のよさや可能性に気付くこと」に対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

##### 意見1 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 上巻の冒頭に、入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示しており、幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続につなげるとともに、スタートカリキュラムの編成に生かすことができるようにしている。
- ・ 単元の終末に、「ぐんぐんはしご」が設けてあり、児童が自己評価するとともに自分の成長に気付くことができるようにしている。
- ・ 下巻「えがおのひみつたんけんたい」では、ポスター、クイズ、紙芝居、探検マップ、動作化、オンラインでのインタビュー、電子黒板、タブレット等、紙媒体やICT機器など、様々な表現方法で伝え合う活動を示しており、児童が表現方法を選ぶことができるようにしている。
- ・ 活動の際、必要に応じて参考にできる資料「学びのポケット」を巻末に設けており、具体的な表現方法や気付きの質を高めるための例が示されている。

##### 意見2 東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 上巻の冒頭に、入学当初の小学校生活の様子を写真で示し、幼稚園教育要領にある10の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を挿絵で示しており、幼児期の教育から小学校以降の教育への円滑な接続につなげるとともに、スタートカリキュラムの編成に生かすことができるようにしている。
- ・ 下巻「つながる 広がる わたしの生活」では、新聞、ポスター、パンフレット、動画、電子黒板等、紙媒体やICT機器など、様々な表現方法で伝え合う活動を示しており、児童が表現方法を選ぶことができるようにしている。
- ・ 町探検を3回設定しており、同じ場所での体験活動を何度も繰り返すことができるようにしている。

令和6年度から使用する広島市立小学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔音楽〕 種目〔音楽〕

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の採択について

教科 [ 音楽 ] 種目 [ 音楽 ]

1 本市の実態や児童の状況

- 本市では、長年にわたり「文化の祭典」や「こころの劇場」など、日頃の学習の成果を発表したり本物の舞台芸術に触れたりするなど、児童の音楽経験を豊かにする場を設定してきている。また、各学校において、音楽朝会や音楽鑑賞、音楽発表会など音楽活動の楽しさを味わうことのできる機会を大切にしている。さらに、「学校教育活動地域連携推進事業」を活用し、地域人材等を指導者として招き、我が国や地域に伝わる音楽に親しむ取組を実施している学校がある。
- 広島市小学校教科研究会音楽科部会や指定校が行った研究授業から、本市の児童の実態として、学校生活だけでなく、日常生活において、楽しく音楽に関わり、音楽活動に意欲的に取り組むことが挙げられる。一方で、児童によって音楽経験の差が大きく、日常生活において我が国や郷土の伝統的な音楽に親しむ機会が非常に少ない児童もいる。また、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽をどのように表現するかについて思いや意図をもつことや、言葉などで適切に表現することについて課題が見られる。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 題材や学習の目標等の示し方 ② 知識及び技能の習得を図るための工夫 ③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫 ④ [共通事項] の指導を充実させるための工夫
<主体的に学習に取り組む工夫>	⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫 ⑥ 教材等の扱い (児童の興味・関心や発達段階への考慮等)
<内容の構成・配列・分量>	⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い ⑧ 各領域 (表現・鑑賞) の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮
<内容の表現・表記>	⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け ⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫
<言語活動の充実>	⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫

### 3 各教科書の特徴

#### 1 基礎・基本の定着

##### 視点① 題材や学習の目標等の示し方

- 目次に、題材のページと同じ色の枠を付し、題材名を示している。
- 題材名は、題材冒頭の見開き左側に縦書きで示している。
- 学習目標は、見開き左側上部に横書き2色で示している。
- 「まなびナビ」のマークを付け、学習内容を示している。
- 1年間の学習の見通しを「学習マップ」で示している。また、その中で、3年以上では、「学習の進め方」コーナーを設け、学習の目的や留意点を示している。

##### 視点② 知識及び技能の習得を図るための工夫

- 「歌声」で、声の出し方や発声の仕方等について示している。  
3・4年：2か所 6年：1か所
- 「スキルアップ」のページを設け、常時活動を示している。  
2年：2ページ 3年：2ページ 4年：2ページ 5年：2ページ 6年：2ページ
- 3年「こんにちは リコーダー」
  - ・ リコーダーのつくりや各部の名称を知る。
  - ・ 鑑賞曲を聴く。
  - ・ リコーダーの種類を知る。
  - ・ リコーダーの支え方、息の使い方等、リコーダーの演奏の仕方を知る。
  - ・ 「シ」の音で、長い音や短い音を吹いたり、タンギングしたりする。(表記は片仮名で「トゥ・ル」)
  - ・ 「シ」の音であいさつの言葉をまねっこして遊ぶ。
  - ・ 「シ」を使った曲を演奏する。(「シシシでおはなシ」)
  - ・ 「シラ」を使った曲を演奏する。
  - ・ 「シラソ」の音を組み合わせるで決まったリズムで吹いたり、友達とつなげて吹いたりする。
  - ・ 「シラソ」を使った曲を演奏する。

※ 「下」や「レ」は、時期をずらして扱っている。

##### 視点③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- 児童の作品例やワークシート例、児童の発言や会話を想定した吹き出し等を示している。  
4年「音のスケッチ 音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」(音楽づくり)
  - ・ 「低い音からだんだん高くなって、3小節めで一番もり上がるようにしたよ。」
  - ・ 「4小節めはソで終わってみたら、落ち着く感じがしたみたい。」
- 5年「音のスケッチ 和音に合わせてせんりつをつくろう」(音楽づくり)
  - ・ 「3・4小節めを、5・6小節めに続く感じで作りたいな。4小節めの最後の音を、ミやソでためてみよう。」
  - ・ 『茶色の小びん』みたいに、5・6小節めを1・2小節めと同じせんりつにしてみたよ。」
  - ・ 「左ページで(友達)がつくったせんりつが、落ち着く感じだから、終わりに使おう。」

##### 視点④ 【共通事項】の指導を充実させるための工夫

- 各教材で学習する音楽を形づくっている要素について、「音楽のもと」として見開き右ページ上側に示し、中・高学年にはメモ欄を設けている。
- 巻末に『「音楽のもと」まとめ』を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。(全学年)
- 学習目標に関連する音符や記号等の名称と意味を、見開き右側に示している。(3～6年)
- 巻末に音符や記号等を一覧にして示している。(2～6年)
- 各学年で、音楽の特徴を捉えるための体を動かす活動を示している。  
3年「ふじ山」(歌唱)
  - ・ 「せんりつのリズムを手で打つなどして、ターンタタンタンのリズムで始まるだと、そうでないだんを見つけよう。」
  - ・ 「それぞれのだんの、せんりつの流れを手で表してみよう。」

#### 2 主体的に学習に取り組む工夫

##### 視点⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫

- 4年以上の巻頭に、音楽家や表現者等からのメッセージを掲載している。
- 各学年に、生活の中の音や音楽を取り扱った題材や教材等を示している。
- 6年に、音や音楽と生活との関わりについての特集がある。(「心と心をつなぐ音楽」)

##### 視点⑥ 教材等の扱い(児童の興味・関心や発達段階への考慮等)

- 児童をイメージしたイラストに、吹き出しで学習のヒントを示している。
- 既習の音符や休符等を振り返るためのページを、「かえるの絵」とともに示している。
- 1年入学直後の学習は、体を動かす活動を取り入れた歌唱・鑑賞の活動を中心に示している。  
「どんな うたが あるかな」(絵の中から歌を見つけて歌う。)  
「うたって うごいて みんなで おんがく」
  - ・ おんがくに あわせて からだを うごかそう (鑑賞5曲)
  - ・ おんがくに あわせて あるこう (鑑賞:「ゴー アンド ストップ」)
  - ・ うたに あわせて かもつれっしやに なって あそぼう (歌唱:「かもつれっしや」)

- ・ うたに あわせて おはなに なって あそぼう (歌唱:「ひらいた ひらいた」)
- ・ わらべうたで あそぼう (鑑賞:「おちゃらか」「なべなべ」)
- ・ うたに あわせて みぶりで あそぼう (歌唱:「かたつむり」)
- 巻末「音楽ランド」では、様々な歌唱・器楽教材を示している。(全学年)
- ・ 教科等と関連した教材(1年「おおきなかぶ」、2年「みんなで九九」、3年「たんの歌」)
- ・ 既習曲の英語歌詞や英語の歌(全学年「Short Time Learning」)
- ・ 全学年同一の歌唱・器楽教材

### 3 内容の構成・配列・分量

#### 視点⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い

- 2～6年で、我が国の音楽を中心に扱った題材を設けている。
- 5年「日本の音楽」の題材構成
  - ・ 歌唱:「子もり歌」
  - ・ 暮らしの中の声の表現(商売の声、すもうの呼び出し)
  - ・ 民謡の歌い方や声(鑑賞:「会津磐梯山」「音戸の舟歌」)
  - ・ 日本の民謡をたずねて(写真掲載10曲、民謡名のみ38曲)
  - ・ 歌唱:「こきりこ節」
  - ・ もっとあそぼう 歌唱:「谷茶前」
- 共通教材は、「にっぽんのうた みんなのうた」として示したり、題材の中に位置付けて示したりしている。
- 長い間親しまれてきた歌を、巻末の「にっぽんのうた みんなのうた」で示している。(全学年)

#### 視点⑧ 各領域(表現・鑑賞)の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮

- 各学年の題材については、次のとおりである。
- 全学年 8題材
- 音楽づくりは、「音のスケッチ」として示している。
- 巻末「音楽ランド」に、各学年の発達段階に応じた歌唱曲、器楽曲等を掲載している。(全学年)
- 各学年で、音楽を形づくっている要素を軸にした題材構成を示している。
- 2年「音色とリズム」
  - ・ どんな音やリズムがきこえてくるかな(鑑賞:「ゆかいな時計」)
  - ・ 楽器を選んで歌と合わせよう(器楽:「森のたんけんたい」)

### 4 内容の表現・表記

#### 視点⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け

- 国歌は2ページで扱い、歌詞や楽譜、細石、国歌斉唱場面の写真等を示している。
- 共通教材では、イラストや写真で歌詞の表す情景を示すとともに、教材によっては、曲の情景を表す写真を、縦書きの歌詞とともに3ページにわたり示している。(3年「ふじ山」、4年「さくら さくら」、5年「こいのぼり」、6年「おぼろ月夜」)

#### 視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

### 5 言語活動の充実

#### 視点⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫

- 各学年で、聴き取ったことや感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるような言語活動を示している。
- 6年「アンサンブルのみりょく」(歌唱:「ぼくらの日々」)
  - ・ 「曲全体のイメージやいいなと思ったところを話し合おう。」
  - ・ 「演奏を録音してきいたり、だれかにきいてもらったりして、自分たちの思いや意図が伝わっているか、『もっとこうしたいな』と思うところを話し合おう。」
- 4年「音楽のききどころ」(鑑賞:「ノルウェー舞曲 第2番」)
  - ・ 「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話しよう。」
  - ・ 「下の表をもとにしながらきいて、きき取ったことなどを書いておこう。」
  - ・ 聴き取ったことや音楽の感じ等を記入する欄。
  - ・ 「表に書いたことをもとに、この曲のよいなと思ったところやおもしろいなと思ったところなどを、友達と伝え合い、全体を味わってきこう。」
- 2年から6年の巻末に、聴き取ったことや感じ取ったことを言葉で表す「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載している。

1 基礎・基本の定着

視点① 題材や学習の目標等の示し方

- 目次に、題材のページと同じ色の枠を付し、題材名を示している。
- 題材名は、題材冒頭の見開き左側に縦書きで示し、その下に題材のねらいを示している。
- 学習目標は、見開き左側上部に横書き1色で示している。
- 「考える」「見つける」「歌う・演奏する・つくる」のマークを付け、学習内容を示している。
- 1年間の学習の見通しを「学習マップ」で示している。また、その中で、「考える」「見つける」「歌う・演奏する・つくる」のマークについて説明している。
- 各題材の最後のページに、学習のまとめを示している。

視点② 知識及び技能の習得を図るための工夫

- 「歌声ルーム」で、体や息の使い方等について示している。  
1年：1か所 2年：1か所 3年：2か所 4年：2か所 5年：3か所 6年：2か所
- 「そだてよう」のマークを付け、常時活動を示している。  
1年：3か所 2年：4か所 3年：5か所 4年：2か所
- 3年「リコーダーのひびきに親しもう」
  - ・ リコーダーのつくりや各部の名称を知る。
  - ・ 参考曲を聴いたり、ヘッドピースと息を使った音あそびをしたりする。
  - ・ リコーダーの支え方、トーンホールの閉じ方等、リコーダーの演奏の仕方を知る。
  - ・ 鑑賞曲を聴く。
  - ・ タンギングと息の使い方を知る。(表記はローマ字で「tu」)
  - ・ 「シ」の音でまねっこあそびをする。
  - ・ 「シラ」を使った曲を演奏する。
  - ・ 「シラソ」を使った曲を演奏する。
  - ・ 「下」を扱った曲を演奏する。
  - ・ 「ㄒ」を扱った曲を演奏する。

視点③ 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫

- 児童の作品例やワークシート例、児童の発言や会話等を想定した吹き出しを示している。  
4年「日本の音楽でつながろう」(音楽づくり：『さくら さくら』の音階でせんりつづくり)
  - ・ 「だれかのせんりつを、2回使うことになるんだね。」
  - ・ 「だれとだれのせんりつをつなげると、せんりつの音の動きが自然になるかな。」
  - ・ 「ひなさんのせんりつを、始めと終わりに使って、ためしにつなげてみようよ。」
- 5年「いろいろな音のひびきを味わおう」(音楽づくり：「打楽器でリズムアンサンブル」)
  - ・ 「楽器をふやしていき、だんだん集まってくるイメージにしました。」
  - ・ 「友達どうしでおしゃべりをするようなイメージにしました。」
  - ・ 「音色の組み合わせが楽しめるように、5回目と6回目の組み合わせをもう一度くり返してみました。」

視点④ 【共通事項】の指導を充実させるための工夫

- 各教材で学習する音楽を形づくっている要素について、主に見開き右ページ下に示している。
- 巻末に学習したことを振り返る「ふり返りのページ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。(全学年)
- 学習目標に関連する記号や音符等の名称と意味を、「がくふマスター」で示している。(2～6年)
- 巻末に音符や記号等を一覧にし、ページ番号とともに示している。(2～6年)
- 各学年で、音楽の特徴を捉えるための体を動かす活動を示している。  
3年 「ふじ山」(歌唱)
  - ・ 「いちばん高い音はどこにあるのかな。楽譜のせんりつを指でたどって見つけてみよう。」

2 主体的に学習に取り組む工夫

視点⑤ 生活の中の音や音楽と豊かに関わるための工夫

- 3年以上の巻頭に、音楽家や構成作家等からのメッセージを掲載している。また、3・5年の鑑賞教材、3・4年の器楽教材のページに、演奏者からのメッセージを掲載している。
- 各学年に、生活の中の音や音楽を取り扱った題材や教材等を示している。
- 6年に、音や音楽と生活との関わりについての特集がある。(「著作権について知ろう」「音楽のもっている力や役割」)

視点⑥ 教材等の扱い(児童の興味・関心や発達段階への考慮等)

- キャラクターを設定し、仕草や吹き出しなどで、学習のヒントを示している。
- 既習の学習内容や音符等を振り返るためのページや学年を、「おもいだそう」で示している。
- 1年入学後の学習は、体を動かす活動を取り入れた歌唱・鑑賞の活動を中心に示している。  
「うたって おどって なかよく なるう」
  - ・ きいて うごこう(鑑賞：「どみそらんど」)
  - ・ うたって なかよく なるう(絵の中から歌を見つけて歌う。)
  - ・ ともだちと いっしょに おどりましょう。(鑑賞：「セブン ステップス」「チェッ チェッ コリ」)

- ・ みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。(歌唱:「ひらいた ひらいた」)
- 巻末「みんなで楽しく」では、様々な歌唱・器楽教材を示している。(2～6年)
  - ・ 教科等と関連した教材(4年「ごんぎつね」)
  - ・ 英語の歌(3～6年)
- 6年の巻末に、鑑賞資料を示している。

### 3 内容の構成・配列・分量

#### 視点⑦ 我が国の音楽や共通教材に関する内容の取扱い

- 全学年で、我が国の音楽を中心に扱った題材を設けている。
  - 5年「日本の音楽に親しもう」の題材構成
    - ・ 鑑賞:「春の海」
    - ・ 歌唱:「子もり歌」
    - ・ チャレンジ 「二つの旋律の感じを確かめながら、ことでひいてみましょう。」
    - ・ 鑑賞:「ソーラン節」「かりぼし切り歌」
    - ・ チャレンジ 鑑賞:「小さな淡黄色の馬」
    - ・ チャレンジ 「日本の民謡めぐり」(写真掲載9曲)
  - 共通教材は、「こころのうた」として、題材の中に位置付けて示している。
  - 長い間親しまれてきた歌を、巻末の「歌いつごう 日本の歌」で示している。(全学年)

#### 視点⑧ 各領域(表現・鑑賞)の構成、分量、題材の中の思考のつながりへの配慮

- 各学年の題材については、次のとおりである。
  - 1・2年:10題材 3・4年:9題材 5年:8題材 6年:7題材
- 巻末に、各学年の発達段階に応じた歌唱曲、器楽曲等を掲載している。(2～6年)
- 各学年で、音楽を形づくっている要素を軸にした題材構成を示している。
  - 2年「いろいろな がっきの 音を さがそう」
    - ・ いろいろな がっきの 音の 中から すきな 音を さがしましょう。(鑑賞:「だがっきパーティー」)
    - ・ がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。(音楽づくり)
    - ・ いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしましょう。(器楽:「かぼちゃ」)

### 4 内容の表現・表記

#### 視点⑨ 文字表現・表記と学習内容の適切な関連付け

- 国歌は2ページで扱い、歌詞や楽譜、細石、国歌斉唱場面の写真等を示している。
- 共通教材では、イラストや写真で歌詞の表す情景を示している。

#### 視点⑩ 配色や文字の大きさ等の工夫

- カラーユニバーサルデザインに配慮している。
- ユニバーサルデザインフォントを採用している。

### 5 言語活動の充実

#### 視点⑪ 音楽科の特質に応じた言語活動充実のための工夫

- 各学年で、聴き取ったことや感じ取ったことをもとに思考・判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるような言語活動を示している。
  - 6年「曲想の変化を楽しもう」(歌唱:「思い出のメロディー」)
    - ・ 「下の注目するポイントに気を付けながら歌い、ア、イ、ウそれぞれの曲想について、感じたことや気付いたことを表に書いて、話し合ひましょう。」
    - ・ 「感じたこと」や「気付いたこと」を書く欄。
  - 4年「思いを音楽で表そう」(鑑賞:「ペールギュント」第1組曲から 「山の魔王の宮殿にて」「朝の気分」)
    - ・ 「曲全体を通してきき、この曲のよさやおもしろさについて友達と話し合ひましょう。」



#### 4 意見

広島市教科用図書採択審議会では、本市児童の課題である「児童によって音楽経験の差が大きく、日常生活において我が国や郷土の伝統的な音楽に親しむ機会が非常に少ない児童もいる」「聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽をどのように表現するかについて思いや意図をもつことや、言葉などで適切に表現することについて課題が見られる」ことに対応する各教科書の特徴について、広島市教科用図書採択審議会調査員が作成した「令和6年度から使用する小学校用教科用図書の調査・研究報告書」を基に審議した。

##### 意見1 教育出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

- ・ 音楽づくりの活動では、どのような音楽をつくりたいか、児童が思いや意図をもつことができるよう、活動の流れについて、文や図、児童の作品例、イラスト、吹き出しで示している。また、選んだ音や音の動き方等を記述する欄を設けている。
- ・ 学年に応じて、我が国の音楽を扱った題材や教材を示している。
- ・ 各学年の巻末に「『音楽のもと』まとめ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。2年以上には、「音楽を表すいろいろな言葉」が掲載されており、言葉を使って聴き取ったことや感じ取ったことなどを表現し伝え合うことができるようにしている。また、3年以上には、教科書に示されている言葉以外に、児童が見付けたり感じたりした音楽を表す言葉を記述する欄を設けている。

##### 意見2 教育芸術社の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

- ・ 音楽づくりの活動では、どのような音楽をつくりたいか、児童が思いや意図をもつことができるよう、活動の流れについて、文や図、児童の作品例、イラスト、吹き出しで示している。また、選んだ音や音の動き方等を記述する欄を設けている。
- ・ 学年に応じて、我が国の音楽を扱った題材や教材を示している。
- ・ 各学年の巻末に、「ふり返りのページ」を設け、学習で扱った音楽を形づくっている要素について説明している。